にVVI　Newsletter・ 2025　Early Summer Issue

みなさんこんにちは。

５月からの夏日、ところによっては真夏日も！そこに、３月に逆戻りの日も！

毎日の温度変化に右往左往？そんな折ですがお元気でお過ごしのことと思います。

お待たせしておりました“Early Summer”号をお送りします。

今号は、前号でお知らせしたVVI 50周年記念イベントのご報告と、CWAJ奨学金制度にフォーカス

しています。特に視覚障害学生を対象とした奨学金について、今年選ばれたお

二人と、この授与式が行われたCWAJの月例昼食会でスピーチされた、2017年視覚障害奨学生

をご紹介しています。少し長くなりますが、是非最後まで！お楽しみください。

**もくじ**

1. 「VVI 50周年記念映画鑑賞会とトークショー」のご報告：

ジョアンナ・知念（ちねん）

感想　：イベントに参加した皆さん

1. CWAJ視覚障害学生奨学金授与式について

　　　　　　渡辺由香（わたなべ　ゆか）　CWAJ奨学金制度委員会委員長

3．　２０２５年Hands-on・Artについて：

　　　　　　田中紀子 （たなか　のりこ）（Hands・on・Art担当）

ここから記事がはじまります。

１．「VVI ５０周年記念映画鑑賞会とトークショー」のご報告：

ジョアンナ・知念　（VVI 50周年記念イベントリーダー）

**★「人生はクライミング」-- VVI創立50周年記念イベント、楽しく大成功に終わる**

４月19日に開かれたドキュメンタリーフィルム「Life is Climbing」の鑑賞と、主人公小林

幸一郎さん（コバ）と鈴木直哉さんとの質疑応答トークショーは大成功をおさめました。

会場のアルカディア・市ヶ谷は視覚障害をおもちのゲスト、学生やメディア関係者、CWAJのメンバーやその家族や友人など、およそ130名の参加者で満席となりました。この映画のスリル満点の、ユーモラスな、また心温まるシーンを、皆さんが楽しんでくださいました。また上映のあと、主人公のおふたりとのQ＆Aコーナーでは、コバさんとなおやさんの友情や、ふたりで共にしたさまざまな経験について、更に深く知ることができましたし、会場との楽しいやりとりも印象に残りました。

　　会場には、Hands-on Artで使用された立体コピーやVVI活動の写真などが展示され、来場された方々にご覧いただきました。50年前、CWAJメンバーのグループが、視覚障害の大学生に英語に関する支援を始めたのですが、その最初の生徒のひとり、指田忠司（さしだ ちゅうじ）さんがおいでくださいました。彼は元アジア・太平洋視覚障害連盟の理事長であり、現在日本視覚障害者福祉協会の専務理事をされていて、視覚障害の皆さんの国際交流の基礎を築かれた方

です。またCWAJ視覚障害学生奨学金を受けた玉置陽菜（たまおき はるな）さんも、ご来場くださいました。

　　更に、今回のイベントでは、聖心インターナショナルスクールの高校生５名が、筑波大学附属視覚特別支援学校の生徒を含めた来場者をボランティアでガイドしてくださいました。これは特筆すべきことでした。

このイベントを通して、CWAJが視覚障害を持つ方々にHands-on ArtやECGなど、さまざまなプログラムを提供していることを、より多くの皆さんに知っていただく機会となったのはうれしいことです。

★ここからは、このイベントに参加された皆さんからのコメントを一部ご紹介します。

＊「ライフ・イズ・クライミング」イベント、とても楽しく参加させていただきました。

 　特に心に残っていることは、なおやさんが「コバさんを、障害者としてではなく、対等な

ひとりの人間として好きで、友人でいる」と発言していらっしゃったことです。

私自身全盲ですが、友人や同僚にはサポートしてもらうことが多いので「申し訳ないな」と

感じることが多く、「対等な関係」を築くのはなかなか難しいと悩むこともあります。でも

なおやさんの言われた、「全盲でもコバのことは信じている、命を預けられる」という言葉

を忘れず、私も、私生活でも仕事でも「彼女は全盲だけど、信頼できる。任せておけば大丈

夫」と思ってもらえるよう、真心を忘れず日々を過ごしていきたいと思います。

＊最初はUD-CASTがうまく繋がらなかったのですが、インストールをやり直したら繋がって、途中からは映画を楽しむことができました。また、その後のトークイベントも楽しく聴けて、

楽しい一日を過ごさせていただきました。

＊このような良い映画を見る機会はないと思うので、本当に良かったと思います。困難な岩登り

に挑戦する姿に感動しました。小林さんと鈴木さんが強い信頼関係で結ばれていて素晴らしい

と思いました。2人のお声がとても力強く、元気と勇気をいただきました。

創立50周年を心よりお祝い申し上げます。

＊映画もとても感動しましたし、お二人のゲストのお話が本当に楽しくて、あっという間の2時間余りでした。パラクライミングについてもモンキーマジックについても以前から知ってはいましたが、実際になさっている方から直接お話を伺ったのは初めてでした。岩登りは無理でも、インドアの壁登りならもしかしてできるかもしれない、などと思ってしまったぐらいです。  
知らない世界を垣間見させていただきまして、本当にありがとうございました。

＊今回、International Schoolの高校生が誘導をサポートしてくださいました。私は、ペアになった学生さんに学校の様子など聞かせていただいたのですが、日本の公立高校とはいろいろな意味で違いがあり、それを知ることができたのも興味深かったです。

★なお、前号でもご紹介しましたが、VVI 50周年記念のイベントとして、コンサートが開かれます。11月6日（木曜日）午後7時から。会場は、錦糸町にある、すみだトリフォニーホール

小ホール（1階）です。改めて皆さんにご案内する予定です。　　（以上）

２．視覚障害学生奨学金制度について・２０２５年度奨学生のご紹介

**渡邊由香 （CWAJ奨学金制度委員会委員長）**

**CWA**Jは、視覚に障害のある学生を対象にした奨学金プログラムを提供しています。この奨学金は1978年に設立された日本で最初の視覚障害者を対象とした給付型奨学金で、日本国籍あるいは日本国特別永住権をもつ視覚に障害のある大学生・大学院生を対象に、学業成績、研究課題やその実現性、社会への貢献度などを基準に選考します。

**＊2025年度CWAJ奨学生のご紹介**

2025年度のCWAJ視覚障害学生国内奨学生に梅山智行（うめやま ともゆき）さんと北名美雨

（きたな みゆ）さんが選出されました。おふたりについてご紹介いたします。

梅山智行さんは東京工業大学理学院化学系を卒業後、東京科学大学（旧東京工業大学）大学院理学院化学系化学コースに進学して、MOFs (Metal Organic Frameworks)に関する研究をされています。化学は中学生の頃から好きだった学問で、今も研究を続けられていることを嬉しく思い、これからも研究を続けていきたい、と考えておられます。梅山さんが解明しようとしている原子や分子の挙動は、晴眼者であっても細かすぎて肉眼で見ることができません。晴眼者が見えない対象を、視覚障害者であるご自身が解明しようとすることに達成感を覚えることもあるそうです。

北名美雨さんは、広島大学教育学部第一類（学校教育系）特別支援教育教員養成コースをご卒業後、同大学大学院人間社会科学研究科に進学。教育科学専攻教師教育デザイン学プログラム特別支援教育学領域を専攻、視覚特性と読みパフォーマンスの関係を解明する研究中で、現在は実験心理学的手法を用いて、弱者ひとりひとりが読みやすいと感じる文字の開発に取り組もうとしておられます。科学的根拠に基づいた支援方法を確立していくことで、ユニバーサルデザインの構築を目指し、すべての人々が機会を損失せず社会に参加できる環境を整備したい、と考えておられます。

5月28日に日本外国特派員協会(FCCJ）で開催された、CWAJ2025年度奨学金授与式及び昼食会に

は梅山さんも北名さんも出席し、当日集まった方々に英語で自己紹介のスピーチをしました。授与式はハイブリッドで行われたので、会場に来られない多くのCWAJメンバーが日本各地から、海外各地からも、オンラインで出席し、皆で今年のCWAJ奨学生を祝福しました。

CWAJは梅沢さんと北名さんのご活躍を願ってやみません。

★2026年度は、下記の奨学金を支給いたします。

（1）視覚障害学生国内奨学金（募集人数：２名　支給額： 各１００万円）　　　　　　　　　　　　　――2026年度に日本の大学・大学院で勉学する方が対象

（2）視覚障害学生海外留学大学院奨学金（募集人数：１名 支給額：3００万円）

―2026年度に海外の大学院等へ留学を希望する方が対象

文系・理系を含むあらゆる専攻分野が対象となり、応募者の応募時の年齢制限はありません。　　　　海外の大学院等へ留学を希望する方は、CWAJ視覚障害学生海外留学大学院奨学金、日本の大学や　大学院で学びたい方はCWAJ視覚障害学生国内奨学金にご応募ください。

2026年度のCWAJ奨学生募集要項は７月にCWAJウェブサイト(<https://cwaj.org/jp/)に掲載>　　　されます。ご質問がございましたら、メイルアドレス：[Scholarshipinquiry@cwaj.org](mailto:Scholarshipinquiry@cwaj.org)までお問い合わせください。

★2017年度CWAJ視覚障害学生国内奨学生の兼子莉李邦(かねこ りりな)さんをご紹介します。

5月28日に開催されたCWAJ 2025年度奨学金授与式及び昼食会には、2017年視覚障害学生

国内奨学生の兼子莉李邦さんが、ゲストスピーカーとして招待され、北名さん、梅山さんを含む

2025年度CWAJ奨学生や、多くの来賓、CWAJメンバーを前にプレゼンテーションを披露しました。パワーポイントのスライドの切り替えをご自身で行いながら、よく通る力強い声で、流暢な英語で、

大学を卒業後、社会に出た莉李邦さんが、どんな体験をし、どんなことを考え、どんな行動を取られたか、そして現在はどんな日常を送っておられるかを語り、オンラインで参加したメンバーと共に、満場の拍手喝采に包まれました。

＜この項目は以上です＞

1. 第６８回CWAJ現代版画展・Hands－on Art同時開催のお知らせ

　　　　　　　　　　　　　 田中　紀子 （ハンズ・オン・アートコーディネーター）

第68回CWAJ現代版画展が10月15日（水曜日）から19日（日曜日）まで、昨年と同じ

代官山ヒルサイドフォーラムにて開催されます。そして今年も、展示された版画を、視覚に障害のあるゲストに楽しんでいただくための企画、ハンズ・オン・アートを実施いたします。

今年の版画展に選ばれた200を越える作品の中から数点を選び、作家のご承諾を得たうえで、

日本点字図書館のご協力をいただいて、触図（立体コピー）を作成いたします。触図にできる

作品の数は限られていますが、会場に展示されている全ての版画は、ボランティアのガイドと

ともに会場を廻って、解説を聞きながら鑑賞していただくことができます。

詳細については次号、VVI Newsletter Autumn Issueでお知らせいたします。

皆さまのお越しをお待ちしています。 以上です。

1. 編集後記

今回は、VVI ５０周年記念イベントのご報告と、参加された方のコメントに、ＣＷＡＪ視覚障害学生奨学金を受けられた皆さんのご紹介など、いつもより少し長いニュースレターになりましたが、ここ

まで、ゆっくり、お読みくださってありがとうございます。

VVI ５０周年記念のコンサートや、ハンズ・オン・アートの詳細は、決まり次第らお知らせします。11月６日の記念コンサート、その前には毎年のHands-on Artに、皆さん是非ご参加ください。会場で

お会いできますのを、楽しみにしています。

編集担当：石井ふみ子（いしいふみ子）

校正担当：松原久美子（まつばらくみこ）

　　　　　中瀬恵里　（なかせえり）

配信担当：本村 理子 （もとむらみちこ）

《ここに、VVI５０周年記念映画鑑賞会のご報告の、英語のオリジナル文をご参考までに載せています》

“Life is Climbing”- a joyful, successful celebration for VVI’s 50th Anniversary　　　　　　　　　　　　　Report by Joanna Chinen

The *Life is Climbing* documentary film viewing and Q&A with Koichiro ‘Koba’ Kobayashi and Naoya Suzuki held on April 19th was a great success. The large room at Arcadia Ichigaya was filled to capacity with attendance of a diverse group of 130 people - CWAJ members, non-members, people with a visual impairment, students, and media. Hearing the audience’s reaction during the thrilling, humorous, and heartwarming scenes of the film made it clear they enjoyed the film. There were many questions during the Q&A which gave us even more insights into the experiences and friendship of Koba and Naoya.

This was the tribute we had hoped and planned for to highlight 50 years of VVI and CWAJ providing programs for the visually impaired and it successfully raised awareness to many who had never heard of CWAJ and our programs.

Before the film, participants enjoyed seeing the displays about Hands-on Art, VVI, and CWAJ. It was also a chance to chat with old friends and make new acquaintances.

50 years ago, CWAJ members formed a group to provide English language support to university students with a visual impairment. We were honored to have one of those students at the event! Chuji Sashida is currently the Executive Director, National Committee of Welfare for the Blind in Japan. Formerly, as President of the World Blind Union Asia Pacific, he laid the groundwork to promote international exchange of visually impaired. We were also pleased to introduce Haruna Tamaoki, one of the 2024 recipients of the Scholarship for the Visually Impaired.

Another very special aspect of this event was the collaboration with students from International School of the Sacred Heart High School who volunteered as guides for high school students from the Special Needs Education School for the Visually Impaired, University of Tsukuba, and also other attendees with a visual impairment.

＊　おわり　＊